Messages 在学生・修了生からのメッセージ

若手看護師や学生のみなさんに、在宅看護のやりがいを伝えたいです。

大学院へ進んだのは、いつかまた尊敬する先生方のもとで看護研究を行いたいと思っていたからです。専門看護師（CNS）養成過程で学んだ内容は、困りごとや迷いがあったときに解決策を理論で考えるヒントとなり、日々の業務に生かされています。また、志が同じ仲間と出会えたことも私の財産です。在宅看護に興味を持つ若手看護師や学生がもっと増えていくように、いっそう精進したいと思っています。

2021年3月 看護学専攻 博士前期課程 修了
医療法人渓仁会 はまなす訪問看護ステーション主任
在宅看護専門看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師
石岡 道子さん

1995年から医療法人渓仁会手稲渓仁会病院勤務。2010年に本学認定看護師研修センターで研修を受け、2011年に皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得。2020年からは同法人はまなす訪問看護ステーションに所属。
訪問業務に加えて、皮膚・排泄ケア認定看護師領域の活動も行っている。

研究の視点から見る福祉の現状。知識や実践の大切さを再認識しています。

ソーシャルワーカー、研究者として尊敬する先生たちのもとで、専門職の在り方、福祉に関する全体的な知識を学び直そうと母校の大学院へ進学。臨床の場で抱える課題を、研究という視点から捉え、精神保健福祉分野の認識や知識の幅を広げたい思いもありました。大学院で学ぶことで知識はもちろん、専門職同士のつながりも増えました。また、情報収集の大切さを以前より強く感じ、臨床現場での支援のヒントを得られるようになりました。

2020年3月 臨床福祉学専攻 博士前期課程 修了
港区子ども家庭支援センター子ども家庭サービス係
竹内 歩さん

2015年本学看護福祉学部臨床福祉学科を卒業。国家資格である社会福祉士と精神保健福祉士を取得。同年4月から医療法人北仁会旭山病院にてソーシャルワーカーとして勤務する傍ら、本学大学院で学び、多様化する精神保健福祉分野の支援への貢献をめざす。

博士後期課程での研究成果を、地域の医療格差を減らす活動に役立てたい。

臨床で新人教育を行う中で、体系的な教育法を学び直したいと思い、母校の大学院へ入学。教育・研究職としてのキャリアも開拓できるコースや、学部卒業生に対する入学金免除制度があることも魅力でした。在籍時は、教員や同期生に考えを伝えることで自分の看護観がより明確に。臨床から離れることで、看護職に対する敬意もさらに強くなりました。毎日の授業や演習、実習指導を大切にしながら、地域の医療格差を減らすための研究・臨床活動にも力を入れたいと考えています。

2020年3月 看護学専攻 博士前期課程 修了
日本医療大学 保健医療学部 看護学科 成人看護学 助教
鈴木 捷允さん

2013年に本学看護福祉学部看護学科を卒業後、医療法人渓仁会手稲渓仁会病院へ。腎センター、心血管センターで計5年間勤務。
2020年3月、本学大学院看護学専攻博士前期課程修了。
2023年4月から現職。成人看護学の教員として勤務する傍ら、修士課程の研究テーマである心不全看護の更なる探究を目指し、博士課程に進学。

自分の実践に学術的根拠が伴い、支援の方法も広がりました。

自分の実践に学術的根拠を持ちたい、現場以外の視野を広げたいと思い、北海道医療大学の大学院へ。看護と福祉が一緒に勉強できるのは、自らの学びを高めるのに魅力的な環境でした。実践に学術的根拠を持ち、アプローチから支援を考えられるようになりました。また、様々な分野の活動や考え方に触れたことで支援の幅も広がりました。利用者さんを分析する視点を得たことで、感覚的に捉えていたものを論理的に考える機会にもつながったと思います。

2018年3月 臨床福祉学専攻 博士前期課程 修了
社会福祉法人札幌シニア福祉機構特別養護老人ホーム緑愛園相談支援課長
渡辺 啓太さん

2009年本学看護福祉学部臨床福祉学科卒業。同年4月に特別養護老人ホーム青葉のまちに生活相談員として入職。同法人内の異動で2016年から緑愛園へ。同時に本学大学院看護福祉学研究科臨床福祉学専攻修士課程に入学。2019年1月から相談支援課長に。

大学院説明会 開催日程

大学院の詳細はこちらから

第1回	第2回
2025年7月2日（水） 18:30～20:30	2025年11月5日（水） 18:30～20:30

対面・オンライン（ZOOM）開催

■試験日程

	修士課程（第1回）	修士課程（第2回）	博士課程
出願期間	2025年9月1日（月）～9月17日（水）必着	2025年12月1日（月）～12月25日（木）必着	2026年1月16日（金）～1月28日（水）必着
試験日	2025年9月30日（火）	2026年1月13日（火）	2026年2月9日（月）

資料請求・お問い合わせ先
北海道医療大学 入試広報課
0120-068-222 資料請求 https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~koho/request/index.html

北海道医療大学
Health Sciences University of Hokkaido
TEL 0133-23-1211（代）
●当別キャンパス／〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
●札幌あいの里キャンパス／〒002-8072 北海道札幌市北区あいの里2条5丁目
●札幌サテライトキャンパス／〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12F

■薬学部 ○薬学科 ■歯学部 ○歯学科 ■看護福祉学部 ○看護学科 ○福祉マネジメント学科 ■心理科学部 ○臨床心理学科 ■リハビリテーション科学部 ○理学療法学科 ○作業療法学科 ○言語聴覚療法学科 ■医療技術学部 ○臨床検査学科
■大学院薬学研究科○薬学専攻（博士課程） ■大学院歯学研究科○歯学専攻（博士課程） ■大学院看護福祉学研究科 ○看護学専攻（博士前期・後期課程）／臨床福祉学専攻（博士前期・後期課程）
■大学院心理科学研究科 ○臨床心理学専攻（博士前期・後期課程） ■大学院リハビリテーション科学研究科 ○リハビリテーション科学専攻（博士前期・後期課程） ■大学院医療技術学研究科 ○臨床検査学専攻（博士前期・後期課程）

北海道医療大学 大学院看護福祉学研究科
大学院生募集のお知らせ 2026

看護学専攻
修士課程（博士前期課程）
博士課程（博士後期課程）

臨床福祉学専攻
修士課程（博士前期課程）
博士課程（博士後期課程）

グローカルな貢献ができる看護と福祉の高度専門職業人の養成を目指しています！

看護福祉学研究科の目標は、看護と福祉の高度専門職業人を養成することです。特に、修士課程および博士課程では、グローバル（Global）な視点をもち、地域社会（Local）に貢献できるグローカル（Glocal）な能力を身につけることを重視しています。これには、広い視野を持ちながら実践力を高め、研究能力を向上させることが含まれます。このような教育を通じて、学問領域での先駆的な研究活動ならびに実践活動をリードできる専門職業人を育てることを目指しています。

修士課程の看護学専攻では、教育・研究コースにおいて、10分野の開講に加えて看護教育力推進プログラムを提供し、教育課程の充実を図っています。また高度実践コースでは、専門看護師（CNS）養成課程6分野およびナースプラクティショナー（NP）養成課程を開講し、さらに2025年度からは保健師(PHN)養成課程を開講しました。2024年3月現在、CNS 96名を、NP29名を輩出する実績を誇っています。

修士課程の臨床福祉学専攻では、教育・研究コースおよび高度実践コースにおいて、それぞれ基礎領域として社会福祉学原理が、また援助領域として障害福祉学、高齢者福祉学、児童福祉学が、さらに俯瞰領域として教育福祉学の計5分野が開講されています。特に高度実践コースは2022年度の開講以来、福祉領域における専門職業人の実践力向上とキャリア形成を目指しています。

博士課程では,保健・医療・福祉分野で活動できる教育者、および高度な学識と実践力を有する看護と福祉のリーダーの育成を目指し、オリジナリティの高い研究や、専門領域における科学的知識や援助方法の開発研究など、自立した研究者として活躍できるよう教育環境を整えています。

本研究科で大きな飛躍を遂げる皆さんの姿を心から期待しています。

大学院 看護福祉学研究科長
山田 律子

千葉大学看護学部卒業、東京大学大学院医学系研究科修士課程修了、本学大学院看護福祉学研究科博士課程修了。1996年本学就任。2009年看護福祉学部教授。2023年看護学科長。2024年より看護福祉学部長、大学院看護福祉学研究科長。博士（看護学）。

修士課程（博士前期課程）の教育理念

看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、看護と福祉領域の高度専門職業人を養成することにより、社会の発展ならびに人々の健康と福祉の向上に貢献することを教育理念とする。

博士課程（博士後期課程）の教育理念

看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、自立した研究者として看護学または臨床福祉学の固有性を追求し、開拓的な研究活動ができる人材を養成することにより、社会の発展ならびに人々の健康と福祉の向上に貢献することを教育理念とする。

看護・臨床福祉をオープンにした独自の教育体制

本研究科では、保健・医療・福祉の高度な専門知識と技術に裏づけされたトータルな視点をもって、全人的なケアにあたることのできる人材の育成をめざしています。
看護学、臨床福祉学の各分野では、選択科目群を多く導入し、トータルな視野に立ったうえで各々の専門性を追求します。

看護学と臨床福祉学が連携し、20の研究科共通科目も開講。

超高齢社会を見据え、看護と福祉を総合的に捉えて活動するための「看護福祉学研究科共通科目」を修士課程・博士課程合わせて20科目開講しています。

看護学専攻と臨床福祉学専攻の大学院生が共に学ぶことのできる環境を提供します。さらに、臨地実習を重視して実践科学としての認識が確かなものとなるようにしています。

■ 看護福祉学研究科共通科目

修士課程（博士前期課程）

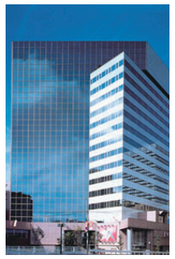
研究方法論	異分野連携実践論	精神医学特論
研究方法各論Ⅰ～Ⅲ	遺伝医学・医療論	カウンセリング
地域生活ケア論Ⅰ～Ⅳ	ヘルスプロモーション論	生殖医療文化論

博士課程（博士後期課程）

病気・障害認識論	医療人類学論
認知症ケア論	疫学的研究方法論
緩和ケア論	現象学的研究方法論

サテライトキャンパスの活用など、社会人の学びを促進。

「臨床現場・福祉現場で働いている社会人のキャリアアップに貢献したい」という強い思いから、社会人が学修しやすい環境を提供します。奨学金制度、長期履修制度、夜間・土日開講、札幌駅から徒歩3分のサテライトキャンパスを活用しての講義など、社会人のみなさんを応援します。



札幌サテライトキャンパス
JR・地下鉄札幌駅から徒歩3分の「アスティ45」12階にあり、大講義室、会議室、共有ラウンジを設置。夜間や土日も講義を開講しています。

奨学金制度等

■ 一般奨学生

本学大学院、学部、歯科衛生士専門学校に在学している学生で、成績優秀、心身健全で、経済的理由で奨学金の貸与が必要と認められた学生に貸与されます。募集時期は4月で、貸与期間は1年間で毎月振込です。

■ 入学奨励金

1.本学を卒業した者を含め、2人目以上の兄弟姉妹が在籍する場合
2.本学を卒業した者の子女
3.本学を卒業、または在籍していた入学者は学費支弁者に対して入学奨励金（入学金相当額）を支給しています。募集時期は4月（入学時）です。

■ その他大学院生の入学金等免除制度

1.本学卒業生は、入学金全額を免除
2.本学と連携協定を結んでいる医療機関に勤務し、社会人大学院生として入学する者は入学金全額を免除
3.外国人大学院生は、入学金全額と授業料30%を免除

■ 教育訓練給付金

本研究科は一般教育訓練給付の指定講座です。

看護学専攻

修士課程（博士前期課程） 募集定員:15名
博士課程（博士後期課程） 募集定員: 2名

6領域のCNS、及びPHN養成課程を備えた、道内初かつ唯一の専攻。

大学教員や研究者の育成を目標にした「教育・研究コース」と、臨床現場で高い専門性を発揮できる人材育成を目標とした「高度実践コース」。プログラムを細分化し、教育目標を明確にした2コースを提供しています。
「高度実践コース」では、6領域の専門看護師養成、2025年4月からPHNを開始し、全国屈指の教育規模・内容を誇ります。

看護学専攻の構成

看護学専攻

教育・研究コース

基礎・統合領域
- 基礎看護学
- 看護管理学
- 地域看護学
- 在宅看護学
- 感染看護学（2026年度募集せず）

発達・障害領域
- 小児看護学
- 母性看護学
- 成人看護学
- 老年看護学
- 精神看護学
- がん看護学

高度実践コース

専門看護師（CNS）養成課程
- 感染看護（2026年度募集せず）
- 精神看護
- 老年看護
- がん看護
- 慢性看護
- 在宅看護

ナースプラクティショナー（NP）養成課程
- プライマリ・ケア（2026年度募集せず）

保健師（PHN）養成課程
- 公衆衛生看護

基礎・統合領域

▶ 基礎看護学

人間、健康、生活、援助の視点から、健康障害に対する人間の反応・行動をひもときながら、看護実践のあり方を追及する。

教授
明野 伸次※

▶ 看護管理学

看護管理の実践に根差した研究と、「人を大切にする」を体現した先見性を備えた創造的な看護管理者を育成する。

准教授
福井 純子※

▶ 地域看護学

地域住民の健康と生活の質向上を目指し、グローバルな視点で研究力を培う。多様な健康課題に対する理解を深め、政策提言能力を習得し、地域のニーズに応じた効果的な介入策を提案する実践力を磨く。

講師
明野 聖子

助教
表山 知里

※2026年度より、教授着任予定

▶ 在宅看護学

暮らしの場で療養する人々のQuality of Life（生命・生活・人生の質）の向上をめざした看護を探究する。

特任教授
竹生 礼子※

准教授
川添 恵理子

▶ 感染看護学 2026年度募集せず

HIV、ウイルス性肝炎などの慢性感染症看護から新型インフルエンザなどのパンデミック時対応を視野に入れ、グローバルな視点を持った人材を育成する。

教授
塚本 容子※

講師
山田 拓

発達・障害領域

▶ 小児看護学

家族に関する諸理論や子どもの心の問題を取り上げ、子どもと家族の心身の健康の向上をめざした看護研究を行う。

教授
木浪 智佳子※

▶ 母性看護学

周産期にある女性と子どもおよび家族を多面的に理解し、最善の看護実践とは何かを探求できる看護職者を育成する。

教授
常田 美和※

▶ 成人看護学

成人期の健康障害に伴う心身の反応や慢性病とともに生きる療養者の理解を深め、療養生活を支えるための看護実践力を養い、看護のあり方を探求する。

教授
桑原 ゆみ※

准教授
唐津 ふさ

准教授
神田 直樹

▶ 老年看護学

老年期を生きる人々の豊かで幸せな老いに貢献する看護を探求するための研究力と実践力の獲得をめざす。

教授
山田 律子※

准教授
内ヶ島 伸也

助教
舩橋 久美子

▶ 精神看護学

精神を病む人々とその家族がその人らしい生活を再構築していくための看護実践を開発できる、精神領域の専門看護者を育成する。

准教授
八木 こずえ※

准教授
宮地 普子

講師
中安 隆志

▶ がん看護学

がんサバイバーと家族の体験の多様性を探求し、がんサバイバーシップの各時期における高度な看護実践力の獲得をめざす。

准教授
熊谷 歌織※

助教
三津橋 梨絵

高度実践領域

▶ プライマリ・ケア 2026年度募集せず

地域住民の健康維持・向上を目標に、ナースプラクティショナーとして包括的な医療提供のための知識・技術を学修する。尚、この課程は厚労省の特定行為研修を含む。

教授
塚本 容子※

▶ 公衆衛生看護

地域住民の健康と生活の質の向上をめざし、多様な健康課題を解決するための研究力と創造的な実践力を兼ね備えた保健師を育成する。

講師
明野 聖子

助教
表山 知里

※2026年度より、教授着任予定

教員紹介

教授
守田 玲菜

特任教授
西 基

特任教授
濱田 淳一

臨床福祉学専攻

修士課程（博士前期課程） 募集定員:5名
博士課程（博士後期課程） 募集定員:2名

ヒューマンケアのスペシャリストやプロデューサーを養成。

ヒューマンケア分野の教育者・研究者の育成を目標とした「教育・研究コース」と、現任者の機能強化やキャリア支援を目標とした「高度実践コース」に再編。とりわけ、高度実践コースでは、マンパワーの機能強化に資するスーパーバイザー養成に加え、ストラテジー（経営戦略）や管理能力を有する福祉サービスのプロデューサー養成をめざします。

臨床福祉学専攻の構成

臨床福祉学専攻

教育・研究コース

基礎領域
- 社会福祉学原理

援助領域
- 障害福祉学
- 高齢者福祉学
- 児童福祉学（希望者は要相談）

俯瞰領域
- 教育福祉学

高度実践コース

基礎領域

▶ 社会福祉学原理

社会福祉事象をある共通の視角から理解し、またそれを批判的に検討するための拠り所となる一般理論や基礎的概念を再審問する。

教授
志水 幸※

援助領域

▶ 障害福祉学

統合失調症等精神障害をかかえる当事者のセルフ・エンパワメントの獲得に向けた支援としての当事者研究の活用のあり方を研究する。

教授
橋本 菊次郎※

▶ 高齢者福祉学

超高齢社会に生じる高齢者を取り巻く諸課題を多面的に検討し、ウェルビーイング向上に向けた社会福祉実践のあり方を探究する。

准教授
巻 康弘※

俯瞰領域

▶ 教育福祉学

子どもたちの健やかな成長を阻む社会的不利等の諸課題について、教育と福祉の両面から研究を行い、子どもたちの幸せを追求する。

教授
白石 淳※

教授
福間 麻紀※

教員紹介

教授
花渕 馨也

准教授
宮本 雅央

講師
奥田 かおり

※課題研究指導教員